

2019年度事業報告

社会福祉法人 友朋会

法人本部事業報告

法人本部では、適正な法人の運営に加え、地域・社会に対して公益性を発揮できるよう努めました。

2019年度法人経営理念・運営方針

経営理念 健やかでその人らしい生活の創造

運営方針 ①コンプライアンス（法令遵守）の徹底

②人権の尊重

③家族・社会との連携

④地域移行の推進

1、法人運営について

①理事会・評議員会の適正な運営

法人の適正な運営に係り、下記の通り実施しております。

理事会

主な議案	議案	開催日	開催場所
2018年度決算報告について	7議案	5/28	メルパルク熊本
理事長の選任	2議案	6/25	メルパルク熊本
役員の変更	1議案	9/3	決議の省略により実施
2020年度事業計画	8議案	3/11	決議の省略により実施

評議員会

主な議案	議案	開催日	開催場所
2018年度決算報告	5議案	6/21	熊本県民交流会館パレア
役員の変更	1議案	9/12	メルパルク熊本
定款変更	2議案	3/25	決議の省略により実施

監事監査

主な議案	議案	開催日	開催場所
2018年度決算及び事業報告	2議案	5/21	メルパルク熊本

役員等研修

法人運営研修ならびに社会福祉法人制度改革についての研修に参加しています。

研修名	開催日	実施主体	参加者
経営研修会	5/20	熊本県経営協	理事2名
法人制度改革対応セミナー	7/9	熊本県経営協	理事2名
経営研修会	3/11	熊本県経営協	新型コロナウイルス蔓延 防止の為中止

②社会福祉法、関係法令に基づいた適切な法人の運営

・障がい福祉サービスに係る申請

「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」の申請

10月から新たに特定処遇改善加算の算定を開始し、それに係る申請、システムの更新を行っています。

・サービス管理責任者の変更届出

4月より障がい者支援施設サニーサイドの事業の責任者であるサービス管理責任者の変更を行っています。

・福祉サービス第三者評価の受審

障がい者支援施設サニーサイドでは、質の高い福祉サービスを提供するため公正・中立な第三者機関が専門的な立場から評価を行う福祉サービス第三者評価を2月及び次年度4月（新型コロナウイルス感染予防により2回目の聞き取りが延期になったため）に受審しています。

2、法人実施事業について

①グループホーム住居の新設

2019年6月20日にサニーサイドワークセンターにて、5事業者によるグループホーム新築工事の入札が行われ、落札業者及び金額が確定しました。6月25日の理事会においても契約について承認され、施工工事が開始、1月15日に竣工しました。建設されたグループホームの名称について職員へ公募し、名称は「グループホームかえで」としています。

②地域における公益的な取り組みの検討

・地域交流事業

主な地域交流事業として13事業を実施しています。

行事名	実施日	参加者数	その他
地域交流会	4/16	51名	老人会・グランドゴルフ 愛好会：20名
泗水西小学校運動会	5/26	5名	利用者4名参加、職員1名
レクリエーション大会	6/8	171名	老人会51名・来賓14名
災害時の食事作り	8/21	7名	職員7名・地域住民
地域福祉塾	9/7	3名	職員1名、学園大実習生2名
サニーサイド秋まつり	11/9	896名	販売16団体・出演5団体
芋掘り体験	10月～11月	266名	3団体（保育所・幼稚園）
第41回泗水文化祭	10/25～10/27	-	施設作品展示
勤労感謝挨拶回り	11/22	3名	11ヶ所、職員1名
泗水西小学校学習発表会	11/16	-	施設作品展示
グランドゴルフ交流会	12/9	25名	グランドゴルフ愛好会13名
青年団餅つき	12/15	70名	菊池市青年団15名
地域の清掃活動	毎月1回～2回実施 ※雨天時を除く	延べ180名	神社の清掃（21回） 利用者・職員

・生計困難者レスキュー事業

日常生活または社会生活上の支援を必要とする方に福祉サービスを提供する一環として実施しているレスキュー事業には前年度4件に対し、今年度5件の依頼がありました。

No.	内容	実施日
1	対象者：40代女性（5人家族） 支援内容：食材費、日用品費、ガソリン代の支払い （全1回の支援）	5/16（面談） ） 6/11（終結）
2	対象者：50代男性（車中泊） 支援内容：食材費、ガソリン代の支払い （全2回の支援）	10/10（面談） ） 10/15（終結）
3	対象者：60代男性（1人暮らし） 支援内容：食材費、ガソリン代の支払い （全4回の支援）	10/24（面談） ） 10/30（終結）
4	対象者：50代男性（3人家族）	11/7（面談） ）

	支援内容：食材費、日用品費、ガス料金、電気料金、ガソリン代の支払い（全3回の支援）	11/18（終結）
5	対象者：20代女性（妊娠中1人暮らし） 支援内容：マタニティ用品、ベビー用品の購入（全1回の支援）	12/18（面談） ） 1/7（終結）

・一人住まい高齢者訪問事業

月1回、訪問し食事をお持ちするとともに、生活状況を確認し見守る事業を行っています。3名の方が一時、疾患や骨折により入院となったことや2月末の県内でのコロナウイルス発生に伴い、予防策として訪問を中止していることで前年度（12回の延べ88名に実施）と比較して減少が見られます。

実施	訪問者数	その他
月1回/計11回実施	延べ79名	9名対象に実施。（対象者 前年度より1名減）

・サニーサイド地域福祉相談室

前年度より実施している地域福祉相談室は1人暮らしの高齢者や育児に悩む親らの様々な日常生活の困り事、また、貧困問題、引きこもり、育児、介護などの福祉全般に対するお困りごとに対して取り組んでいく、よろず相談の窓口です。広報誌とともに地域の回覧板にて周知しています。

・支援学校体験実習生受け入れ

支援学校の依頼により、体験実習生の受け入れを実施しています。

学校名	人数	期間	実習内容
菊池支援学校	1名	6/10～6/21（計10日間）	就労継続支援B型利用実習
	1名	6/12～6/14（計3日間）	生活介護利用実習
	1名	6/17～6/21（計5日間）	生活介護利用実習
	1名	9/24～10/4（計9日間）	就労継続支援B型利用実習
	1名	9/25～9/27（計3日間）	生活介護利用実習
	1名	9/26～9/27（計2日間）	生活介護利用実習
大津支援学校	1名	6/10～6/21（計10日間）	就労継続支援B型利用実習
	1名	6/10～6/14（計5日間）	生活介護利用実習
	1名	6/17～6/18（計2日間）	生活介護利用実習
熊本支援学校	0名	—	—
計	9名	延べ52日間	—

③アール・ブリュット活動の強化

今年度は利用者が作成した絵画を企業や個人に貸し出す「レンタルアート（レンタル絵画）」を開始しました。3/31現在、レンタル先 10件、レンタル数 12作品となっています。その他、新たな画集の作成や啓発活動としてアール・ブリュット移動美術館をアトリエ SUN にて開催しています。

実施した項目		実施内容
1	レンタルアート	<ul style="list-style-type: none"> 個人様レンタル数 計 4件 企業様レンタル数 計 6件 レンタル数 12作品
2	画集作成	<ul style="list-style-type: none"> サニーサイドの画家たち vol.2 作成（9/1 発行） 発行部数：500部
3	見学	<ul style="list-style-type: none"> デザイン あ 展 （9/4、6 熊本現代美術館） 生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.5 （10/8 熊本県立美術館） アートアクアリウム展 （12/3、5 熊本城ホール）
4	画家登録	<ul style="list-style-type: none"> アール・ブリュット パートナース熊本に新規1名登録。計7名登録。
5	啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> サニーサイド秋まつりにて「アール・ブリュット移動美術館」開催（11/9 アトリエ SUN 延べ来場者数：984名）
6	作品出展・展示	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県庁局長室展示（7/8） 1名（1作品展示） 生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.5（10/8） 作家3名（計16作品展示） 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展（10/19） 1名入選（佳作） くまもとハートウィーク 障がい者芸術展（11/6～10） 3名（各1作品展示） 熊本県知的障がい者施設協会 福祉大会（12/3） 9名（個人：各1作品出展） 12名（合作：1作品出展）

④成年後見人選定の推進

今年度は新たに2名の方に成年後見人が選定されました。

利用者数	今年度選定数	被成年後見人数	未選定利用者数
52名	2名	42名	10名

⑤業務改善推進のためのソフト導入、横断的な組織編成

・kintone の導入

9月より業務効率化を図るためクラウド型ソフトウェアを導入しました。アプリ数は64種類で目的に合わせて構築が可能です。各種申請書類や会議書類などの共有化、連絡のスピードアップを図ることができています。

・組織編成の構築

横断的な組織の運用として長期間の課題解決に向けた7つの委員会と短期的な目標達成に向けた3つのプロジェクトチームを立ち上げ、定期的に検討の場を設けています。さらに上記の kintone

を利用して発案や議題に対する検討を共有することで、課題の解決や改善に繋がっています。

	委員会	主な実施内容
1	安全衛生委員会	職員の健康やメンタルヘルスに関して管理、指導の実施
2	権利擁護委員会	人権擁護・虐待防止に関する周知、研修の実施
3	研修・広報委員会	職員研修及び人材採用、法人広報等の実施
4	リスクマネジメント委員会	施設の防災計画の作成や事故防止対策を実施
5	業務改善委員会	各種アンケートの実施や施設における業務の見直し実施
6	栄養ケアマネジメント委員会	利用者の食事の栄養面や嗜好に関して管理、調整を実施
7	栄養管理委員会	厨房調理委託業者との連絡やメニューの調整を実施

	プロジェクトチーム	主な実施内容
1	アール・ブリュットチーム	絵画の管理、レンタルアートや作品展示会への出展を実施
2	第三者評価受審チーム	評価項目の確認、受審に向けた書類の準備、職員教育実施
3	児童支援事業準備室	児童支援事業実施施設への視察、研修会への参加を実施

⑥児童支援事業への取り組み

4月より児童支援事業を行っている2箇所に見学に行っています。必要な設備面や療育の方法について学ぶ機会となっています。児童支援を行う場所を検討していますが、まだ検討段階となっています。また、児童支援事業の中心となる児童発達支援管理者を配置するため研修への参加も行っています。

	見学場所	視察日	人数
1	(見学) 社会福祉法人天水福祉事業会 障害児通所支援事業所くるり	5/14	4名
2	(見学) 社会福祉法人清流会 児童デイサービス事業所 風雅	6/17	5名
3	(研修) 熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者 初任者研修	7/19	1名
4	(研修) 熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者 基礎研修	11/29	1名

⑦施設・設備整備事業の実施（※社会福祉充実計画を含む）

	事業名	事業内容
1	グループホーム新築工事	友朋会の計画におけるグループホーム新築工事の実施 ※
2	環境設備整備	新規グループホームへの水道引き込み工事及び給水設備 工事を実施 ※

		施設北東側斜面樹木伐採、敷地内樹木剪定作業の実施
3	機材の整備	リース満了及び業務効率化の為、ノート PC 3 台を購入
		AED が耐用期間を経過するため、買い換えを実施
		職員用ノート PC 5 台の購入及びソフトアップデート実施
		管理者の決済・事務作業効率化のため専用の端末を購入
4	ソフトの導入	法人全体の効率化を図るため、情報共有やファイル管理等ができるクラウド型ソフトウェアを導入
5	車両購入	公用車の買い換えに伴い、歩行が困難な方にも利用しやすい助手席リフトアップシート搭載車を購入

3、人材について

①採用説明会の実施及び求職者へのアプローチ

今年度は採用説明会に加えて昨年度の実習の接点を活用し、新卒採用5名に繋げています。

実施内容	日付	場所	見学・来訪者数
採用説明会	3/19	メルパルク熊本	3名
採用説明会	5/14	熊本学園大学	7名
施設見学会	5/22	サニーサイド	2名
施設見学会	6/4	サニーサイド	4名
採用説明会	6/18	熊本学園大学	2名
施設見学会	7/16	サニーサイド	1名
4施設合同説明会	8/10	熊本学園大学	2名
4施設合同施設見学ツアー	8/9	県北施設 各4カ所	9名
施設見学会	9/30	サニーサイド	1名
就職フェア ※新型コロナウイルス感染予防のため中止	3/18	熊本城ホール 大会議室	—
レクレーション大会ボランティア	6/8	泗水西小学校	11名
サニーサイド秋まつりボランティア	11/9	サニーサイド	15名
計	11回	—	57名

• 福祉分野の人材育成のための教育実習生の受け入れ

社会福祉士や歯科衛生士といった専門職を目指す学生の受け入れを実施しています。

実習内容	期間	学校名	人数
ソーシャルワーク実習	9/2～9/18（計12日間）	熊本学園大学 社会福祉学科	2名
発達支援臨地実習Ⅱ	1/17～3/4（計10日間）	九州看護福祉大学 口腔保健学科	2名

②人材定着のための自己啓発支援事業・福利厚生事業の充実

人材定着及び専門的な人材を育成するために先駆的なサービスの視察の機会を設け、支援の質・意欲の向上に繋げています。

	視察場所	目的	視察日	人数
1	特定非営利活動法人まる 工房まる	製品の開発、環境の設定について知る	7/24	6名
2	社会福祉法人八代愛育会 障がい者支援施設八代学園 他	サービスの質向上に向けた支援方法について知る	8/22	5名
3	社会福祉法人明徳会 障がい者支援施設チャレンジめいとくの里	行動障害に対する先進的な取り組みについて知る	9/11	4名
4	社会福祉法人熊本市手をつなぐ育成会 障害者支援施設しょうぶの里 他	障がい者アートの先進的な取り組みについて知る	10/9	8名

③専門性のある人材育成に向けた研修の実施

内 容		回 数	延べ研修 受講人数
内部研修	熱中症・感染症対策・権利擁護等	担当職員による実施	9回 186名
	腰痛予防教室	熊本セントラル病院 理学療法士 岸本稔氏	1回 10名
	救急法	日本赤十字社熊本県支部 赤十字救急法指導員 野崎氏	1回 12名
	介護技術研修	日本製紙クレシア株式会社 ケアアドバイザー 森氏	1回 9名
	人事考課研修	社会保険労務士法人 上田事務所 緒方伸子氏	1回 9名
実践研修	テーマ別研修	熊本学園大学 講師 今吉光弘氏	7回 58名
	テーマ別研修	熊本学園大学 講師 加來克幸氏	4回 40回

専門研修	ストレスマネジメント研修	株式会社ら・らぼーと 産業カウンセラー 堀川香代氏	1回	11名
	強度行動障害研修	熊本県北部発達障害者支援センター わっふる 松永光葉氏	2回	21名
	高齢期における支援研修	菊池市地域包括支援センター 高齢支援課 山口真琴氏 小規模多機能ホームひごっ家 介護支援専門員 高宮邦泰氏	1回	13名
	中堅職員研修・ 初任者研修等	熊本県社会福祉協議会等	111回	139名
計			139回	508名

④人員増加に伴う新たな制度の導入

・衛生管理制度の導入

衛生管理規程に基づき、衛生管理者、産業医の配置を行いました。職員のメンタルヘルスを含む健康管理について安全衛生委員会を月1回開催しており、委員会での検討事項等については産業医へ毎回報告しています。併せて、2カ月に1回の職場巡視を定期的実施しています。また、12月には対象職員へストレスチェックを実施し、結果をフィードバックすることで安心安全な職場環境設定に繋がっています。

<ストレスチェックの実施>

実施期間	対象者数	結果
12月	46名 (育児休暇3名を除く)	集団分析より、すべての項目について全国平均と比較してストレス要因は低い。必要に応じて医師の面接指導を実施している。

4、苦情解決第三者委員会・虐待防止委員会の開催

苦情等については第三者に公表し、客観的な視点の下で解決すべく意見等を頂いています。

開催日	報告内容	参加者	意見
2/12	①事業内容・地域における公益的な活動について ②苦情相談報告（転倒事故1件） ③権利擁護の現状と防止の取り組みについて ④その他 ・家族アンケート結果と対応報告 ・利用者の入院状況報告	【苦情解決第三者委員】 岩下和憲 坂本久美子 【サニーサイド】 衛藤博（理事長） 宮崎嗣大（施設長） 北里うた子 （看護・生活相談室 係長） 村上美保（ サービス管理責任者 係長） 永田精一郎 （サービス管理責任者 係長）	ご家族からの様々な要望への対応に関して委員からは、限られた人数では出来ないこともあり得るとご意見を頂きました。また、一人暮らしの高齢者訪問事業では該当される方がいるため検討されるとの事。

5、利用者・家族との関係作りについて

・交流機会の設定

実施内容	期日	場所	人数
サニーサイド・家族会親睦温泉旅行	10/2	司ロイヤルホテル	家族16名・利用者56名
家族説明会 ※新型コロナウイルス感染予防のため中止	3/7	サニーサイド	—

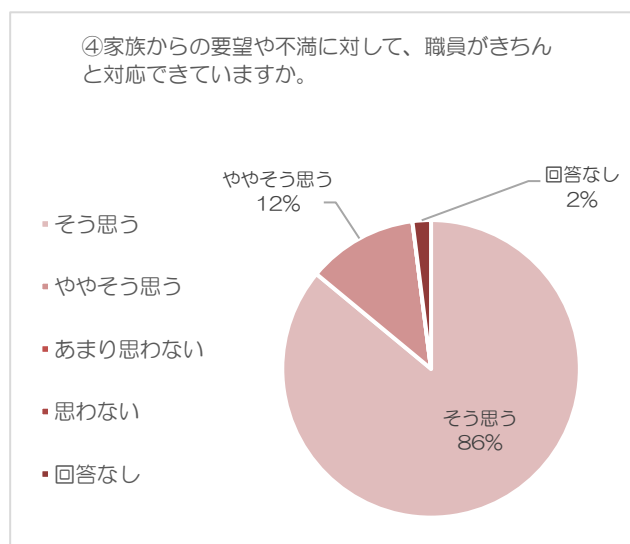
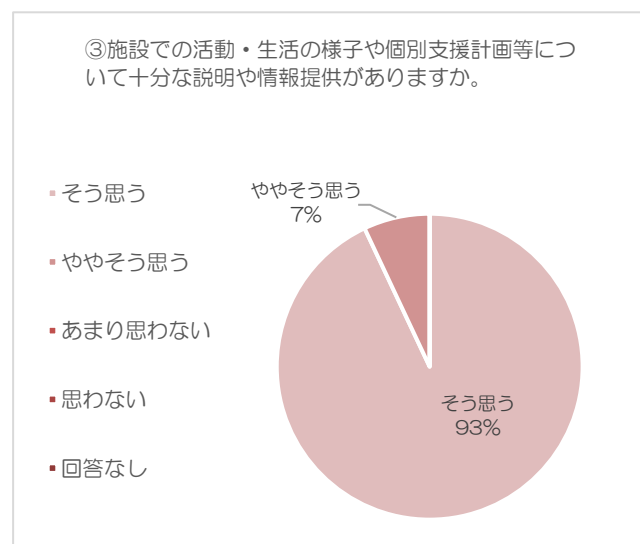
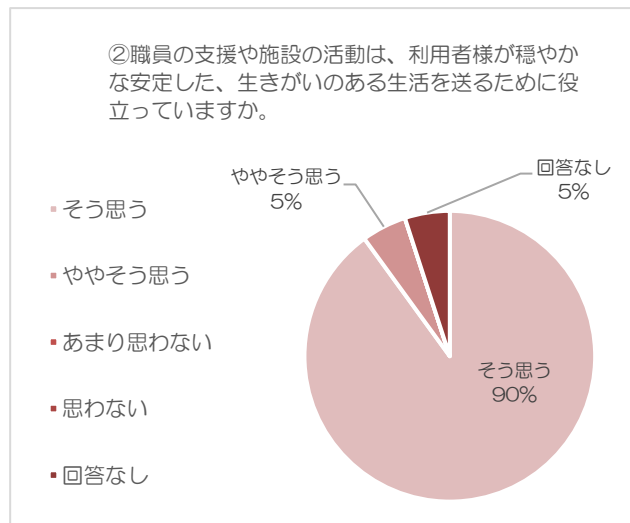
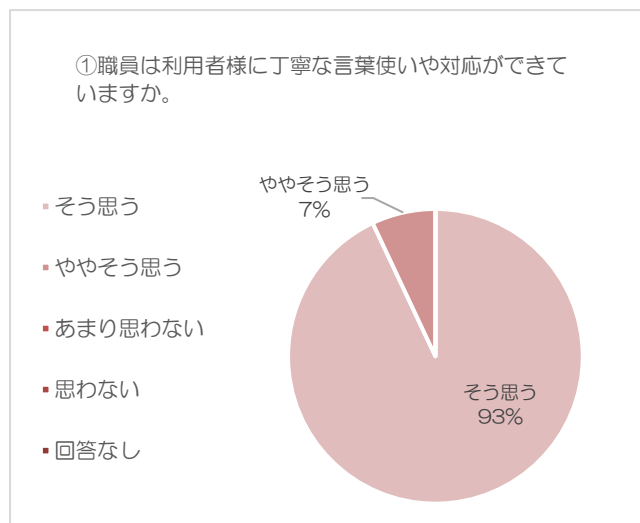
・利用ニーズの把握

ご家族及び成年後見人に施設利用の満足度及び要望・意見についてアンケートを実施しています。ご家族から頂いた意見については職員間で共有し、対応が必要な事項については個別に連絡を取り、支援方針等を示すことで信頼関係構築に努めています。主な意見として、利用者への健康面について意見があり、速やかに検討の場を設け治療方針や支援方法について対応しました。また、ご家族への対応にご意見を頂き、対象職員及び全職員へ対応方法の周知徹底を実施しています。

実施内容	実施日	回答数	対象者数
利用者家族アンケート	10/25	57名（79%）	72名

<利用者家族アンケート集計結果>

回答結果は以下の通りです。



・権利擁護体制の向上

権利擁護に関する取り組みとして法人で定める「虐待防止対応規定」に沿って以下の活動を行っています。

実施項目	実施月	実施内容	対象者
早期発見チェックリスト①	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを実施し、各事業・個人の課題を探る。 ・チェックされた項目については、内容の追及、各種会議にて対応策を決定し、全職員にフィードバックしている。 ・主な意見として、利用者支援での悩みについて挙がっている。 	主任（5名）
早期発見チェックリスト②	10月		主任（5名）
体制整備チェックリスト 職員セルフチェック			全職員 全職員
早期発見チェックリスト③	12月	主任（5名）	

早期発見チェックリスト④	2月	委員会から聞き取り、支援方針を見直す等の解決を図っている。	主任（5名）
権利擁護の周知活動	毎月	虐待事例の回覧や職員が一日の業務を把握する日課表にスローガンを記載し、利用者処遇の意識付けを図っている。	—

・権利擁護に関する研修の実施

研修名	主催	実施日	対象者
熊本県障害者虐待防止 ・権利擁護研修会	熊本県	11/26	職員
熊本県障害者虐待防止 ・権利擁護研修会	熊本県	1/16	サービス管理責任者等 係長 相談支援専門員 係長
権利擁護研修	熊本学園大学 今吉先生 サニーサイド サニーサイド サニーサイド（WEB研修） サニーサイド	6/14 6/11 12/23 随時 3/7	職員（12名） 給食委託業者 職員（19名） 職員（14名） ご家族 （新型コロナウイルス感染予防のため資料送付）

障がい者支援施設サニーサイド事業報告

障がい者支援施設サニーサイドでは、利用者ニーズへの対応と実現他5つの目標について取り組みを行いました。

生活介護事業所では、利用者の「はたらく」というニーズを実現する為に、昨年度に引き続きアトリエ SUN での作業訓練の人員の増員や作業時間を増加、働く場の見学等を行いはたらく楽しみや作業意欲の向上のための取り組みを実施しています。

施設入所支援では重度・高齢化に対応するため、昨年度に引き続き外部の理学療法士によるリハビリ支援の強化や体力維持・健康維持の為にレクリエーション活動を充実させました。特にレクリエーション活動では、重度高齢化する利用者の体力や状態に合わせた活動を取り入れることで、活動の参加率の向上が見られました。また、健康管理面では通院は横ばいながら入院日数が増加しています。重症化に陥りやすい状況ととらえ今後も慎重な体制を継続していきます。

1、障がい者支援施設サニーサイド利用者概要

施設入所支援では、昨年度3月31日で男性1名が退所となり、新たに4月1日からグループホームの男性1名が新規入所となりました。現在の入所者数は42名と前年度と変更はありません。生活介護では、5月に女性1名の利用開始となりましたが、現在の利用者数は48名と前年度と変更はありません。

障害支援区分は、施設入所支援では平均区分5.9と前年度より0.1高くなり、生活介護は平均区分5.8と前年度と変わりはありません。今年度は4名の障害支援区分判定があり、1名の方が区分5から区分6に変更がありました。

対象者		人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分						平均	前年度
				A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1		
施設入所	男性	23	52.6	8	11	4	22	1	0	0	0	0	6.0	6.0
	女性	19	50.8	5	10	4	16	1	2	0	0	0	5.7	5.7
	合計	42	51.8	13	21	8	38	2	2	0	0	0	5.9	5.8
生活介護	男性	26	50.0	10	12	4	24	2	0	0	0	0	5.9	5.9
	女性	22	48.9	7	10	5	17	3	2	0	0	0	5.7	5.6
	合計	48	49.5	17	22	9	41	5	2	0	0	0	5.8	5.8

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	今年度利用率	前年度利用率
施設入所支援	14664	366	40	100.1%	101.1%
生活介護	11776	270	40	109%	110.8%
短期入所	130	366	2	17.7%	8.9%

(2020年3月31日現在)

2、施設入所支援・生活介護事業報告

【目標に対する取り組み】

(1) 利用者のニーズへの対応と実現、(2) 身体機能・体力維持向上の取り組み、(3) 地域移行の推進、(4) 健康管理と感染症予防の実施、(5) 新規利用者の獲得について取り組みました。

(1) 利用者ニーズへの対応と実現

「はたらく生活介護」の部門では、参加者の増員、作業時間の増加を図ることで一日あたり10名以上の参加があり、作業時間も昨年度の2倍ほど実施出来ました。その結果、今まで活動に

参加できなかった利用者が活動に参加する事が出来るようになったり、働くことへの関心が高まり意欲的に活動に参加する様子も見られるようになりました。また、創作活動では共同で作成した作品を秋まつりで展示する事で、達成感を味わうことも出来ています。

また、対人関係や身体機能を考慮し、居室の変更、活動場所や食堂の座席の見直しを行い、利用者の状態に応じた支援を提供しトラブルの減少に繋がっています。

実施した項目		実施内容
1	「はたらく生活介護」の支援体制の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 午前 9:30 から 11:30、午後 13:00 から 15:00 にフルーツネット作業を実施 午前は月火:男性利用者 6 名、水木:女性利用者 5 名に実施 午後より男性利用者 6 名、女性利用者 6 名に実施 全体年間参加率：85% 創作活動の実施：利用者共同作成による貼り絵作品を秋まつりにて展示
2	社会生活支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 7月23日：フードパル熊本 (ワイン工場見学・杉養蜂園工場見学) 11月25日：フードパル熊本 (杉養蜂園工場見学・蜜蝋作り体験)
3	安心・安全で快適な住まいの提供	<ul style="list-style-type: none"> 対人関係や身体機能を考慮し、食堂やひまわりホールの座席、居室の変更を実施 安全な食事支援の方法について見直しを実施 チェックリストによる、施設内の環境整備を実施 家具及び設備の定期清掃を実施 転倒防止対策として、居室内の家具の配置の変更

(2) 身体機能・体力維持向上の取り組み

身体機能の維持・向上を目指し、理学療法士による全体への体操の指導、個別対応のリハビリ訓練の実施を行いました。個別対応の利用者へは個別のリハビリプランを作成し、実施することで可動域が向上した方や姿勢が良くなった方、自力歩行の距離が増えた方などがいます。また、運動メニューでは、新しいメニューを増やしたことで、活動の参加率も9割近くを維持し、継続して楽しく活動に参加することが出来ています。

今年度からは、理学療法士からのアドバイスにより重度利用者への支援のひとつとして、エアマッサージを取り入れ、効率的で効果のあるマッサージの提供を行い、むくみの改善・予防をすることが出来ています。

実施した項目		実施内容
1	リハビリ訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士2名によるリハビリ訓練を実施 (実施回数：年間 19 回 参加人数：延べ 144 名) 理学療法士のプランに沿った、職員による腕、肩、足首の可動域を広げる訓練、姿勢改善のリハビリや下肢力の向上を目指したスクワット、歩行訓練を実施 退院後の利用者へのリハビリの実施 (実施回数：毎日 参加対象：9 名)

2	運動メニューの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日、金曜日に運動メニューとしてレクリエーションを実施。（参加率：4月～3月 平均87.8%） ・毎週水曜日に室外、室内ウォーキングの実施 ・マンネリ化を防ぐため、新たなメニューを取り入れる（メニュー総数18種類 新メニュー6個（空気砲ゲーム、扇ボール転がし等）
3	重度支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・エアマッサージャーを取り入れ、フットマッサージを実施（曜日に分けて毎週11名実施） ・エアマッサージャー使用が難しい利用者へタクティールセラピー（職員によるハンドマッサージ）を実施（曜日に分けて毎週5名実施）

（3）地域移行の推進

今年度は新たに社会リハビリテーションを実施しています。3名の利用者を対象に日常生活動作（ADL）や手段的日常生活動作（IADL）の学習及び訓練を行いました。活動に参加する事が出来なかった利用者もこのプログラムには参加することができ、生活のリズムを整えることができたり、社会生活力（洗濯干しや掃除）が身に付いた方もいます。また、地域貢献・交流の一環として、地域の小学校のエコキャップ収集活動を行い、地域活動の啓発も行いました。

地域移行に向けては、グループホームの宿泊体験を行い、グループホーム利用者との交流や実際の生活を体験することで、グループホームに移行することへの安心と自信に繋げています。

実施した項目		実施内容
1	社会リハビリテーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日に社会リハビリテーションプログラムに則って、社会生活力を高める訓練の実施 ・毎週金曜日にペットボトルキャップの回収・洗浄を行う。回収したキャップは泗水西小学校へ届ける（12月20日実施）
2	グループホームへの移行	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームでの宿泊体験利用 1泊2日：2名各1回ずつ（11月19日～20日、11月20日～21日） 4泊5日：1名1回（1月20日～24日）

（4）健康管理と感染症予防の実施

入院者と入院日数はのべ18名708日と昨年のおよそ3倍となり、誤嚥性肺炎や大腸疾患など同一の利用者が入退院を繰り返したことが増加の要因となっています。通院に関してはほぼ横ばいで推移しています。感染症においては、例年の感染症予防に加え、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し、感染症予防に努めました。

栄養ケアマネジメントでは、利用者の体重変動、食事摂取量などを把握し、健康に過ごして頂けるよう個人に応じた支援を実施しています。

実施した項目		実施内容
1	利用者の健康状態把握	<ul style="list-style-type: none"> 入院、通院 入院者（延べ） 18名 前年度比 300% 入院日数 708日 前年度比 302% 通院者（延べ） 2655名 前年度比 101% 定期健康診断の実施（年2回） 歯科検診の実施（年1回）
2	感染症予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種 感染症対策セットの用意 感染症対策研修の強化 職員へ使い捨てマスク、手指消毒用アルコールの配布 抗インフルエンザウイルス予防投与の体制の確立 新型コロナウイルス感染症における対策の徹底
3	栄養ケアマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> 栄養ケアマネジメント委員会 年5回実施 （栄養に関わる検討が必要な場合は、随時支援会議を実施している） 参加者 施設長、管理栄養士、サビ管、看護師、支援員 内容 特に個別対応の必要な方への支援内容について 食事摂取量、補食、体重変動、BMIの確認 食事内容・食器などの見直し スクリーニング（年4回） BMI、体重変動、食事摂取量によるリスクの判定 モニタリング（年12回） 毎月、体重測定を行い、BMI・食事内容等を把握 やせ（6名）標準（34名）肥満（2名） 常食（19名）一口大（12名）刻み食（7名）ミキサー（4名） 栄養ケア計画の見直し、作成（年2回）

（5）新規利用者の獲得

今年度は新規利用者の獲得に向けて、支援学校在校生の体験実習（菊池支援学校3名、大津支援学校2名）を受け入れました。利用を希望される方の見学は28名受け入れを実施し、その中で生活介護1名、短期入所3名、日中一時4名が新規利用契約に繋がりました。

また、今年度の新規入所申し込みは4名で、待機者合計は18名となっています。

3、短期入所・地域生活支援事業報告

2019年度の短期入所利用件数は、前年度比200%、地域生活支援は262%とともに増加が見られています。これは、前年度に居室改修の期間利用できなかった時期と比較して新規利用者の増加や利用日数の増加があると考えられます。

<短期入所事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
4	0	4	7	14	9	13	21	5	10	29	14	130	200%

<地域生活支援事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
5	8	13	13	14	13	19	16	11	10	14	0	136	262%

4、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。今年度は、全体で件数が10件増加しました。内訳としては、対人関係に関することや要望に関する事に増加が見られます。

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関する事	10	10	200%
要望（食事・外出等）に関する事	91	91	105%
その他（質問・自身の報告等）	2	2	200%
総 計	103	103	111%

サニーサイドワークセンター事業報告

サニーサイドワークセンターでは働きたい方に働く場を提供する事を目的とし、ハーブや農作物の自家栽培作業及び箱折り等の委託作業を通して、働くことに関する社会生活支援も併せて行っています。報告や相談など仕事をする上で必要なコミュニケーションに関する支援及び集中力や作業効率をあげるために体操や運動の機会を提供しています。作業能力向上のための支援を行い、委託作業では、昨年度まで1カ月当たりの作業量24,000個が今年度は29,000個と作業効率が20%上昇しており、担当する工程以外の作業にも取り組む機会を設け、ほとんどの工程を利用者が習得しています。また、利用者のみで取り組むことができる作業も増えており、ひとりひとりの頑張りが売り上げにつながっていく喜びが、意欲の向上につながっています。

1、サニーサイドワークセンター利用者概要

今年度は、2名の方が利用終了となりましたが、男性、女性が各1名ずつ新規利用となり、計15名の方が利用されております。そのため、利用実績は71.9%と前年度より5.4%増となっております。

対象者		人数	平均年齢	療育手帳				障害支援区分						
				A1	A2	B1	B2	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均
就労 継続 支援 B型	男性	8	40.2	2	3	2	1	2	5	0	0	1	0	4.9
	女性	7	45.4	0	3	4	0	2	4	0	0	1	0	4.9
	全体	15	42.6	2	6	6	1	4	9	0	0	2	0	4.9

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	今年度利用率	前年度利用率
就労継続支援B型	3886	270	20	71.9%	68.2%

(2020年3月31日)

2、就労継続支援B型事業

【目標に対する取り組み】

(1) 工賃向上

今年度の平均工賃は 10,005 円/月（前年度平均工賃 10,361 円）と前年度に比べ 356 円減少となりました。これは、利用実績が昨年度に比べて増え、それに伴い工賃を分配する人数が増えたことから一人当たりの平均工賃額が減少しています。

委託作業部門では、福田屋の箱折り工賃単価が 1 種 2 円から 4 円上がり、年間で 284,114 円増加していますが、施設清掃を減少したため部門額は昨年度より減少をしています。

ハーブ部門については、レモンガラスの安定した栽培量（18kg）は確保出来ていましたが、台風やコロナウイルス感染症に伴う販売機会の減少により売り上げが減少しています。

その他部門では、雑貨製品やアロマ製品の増加に伴い売り上げも増加し、利用者のレンタル絵画売り上げが年間 283,000 円だったため、部門額が 321,470 円増加しています。その為、売り上げ合計は 3,100,959 円と前年度と比較して 162,219 円増加しています。

また、次年度は、コロナウイルス感染症により、販売会やイベントの中止や延期、委託作業の減少等が考えられるため、利用者の安全・健康を守りながら、少しでも工賃向上に繋げていけるよう、販売の方法等を工夫し、売り上げ確保に努めます。

【部門別の売り上げ】

部 門	2019 年度売上	2018 年度売上	増減	前年比
ハーブ・農作物部門	499,274 円	643,314 円	△114,040 円	77%
委託作業部門	2,072,875 円	2,088,086 円	△15,211 円	99%
その他部門	528,810 円	207,340 円	321,470 円	255%
合計	3,100,959 円	2,938,740 円	162,219 円	105%

【部門の内容】

ハーブ部門…ハーブ製品の栽培・加工・販売、紅はるかの栽培と販売、芋ほり体験

委託作業部門…インターナショナルケミカル（フルーツネット袋詰め）

不二コンクリート株式会社（花壇の管理、温泉施設の草取り）

有限会社 福田屋（お菓子の箱折り全 8 種、熨斗貼り）

その他部門…雑貨製品（絵画バッチ、アロマ雑貨、布雑貨等）

利用者絵画製品の制作とレンタル、アロマ製品卸販売

実施した項目		実施内容
1	農福連携事業	<ul style="list-style-type: none"> 旭志にんにく農家の収穫・皮むき・束ね作業（体験 3 日間） →委託先との収入額のマッチングができず、契約には至らなかった。 菊池JAより栗の運搬作業・ごぼう、ピーマン畑の草取り依頼 →利用者の年齢や体力に見合わず体験まで至らなかった。
2	ハーブ製品の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> くまもとグリーン農業応援宣言による「エコファーマー」マーク取得の為、土壌調査を実施（9/14）。基準に満たない項目があったため、結果を元に担当者アドバイスを受け、土壌改良を行う。次年度、再度土壌調査を実施し、申請を開始する。
3	新製品の開発と販売促進	<p>【新製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑貨製品 オリジナル手書きバッチ・ブローチ（5 月販売開始） 79 個 32,700 円売上 ハーブティ商品 2 種販売開始 レモングラス teabag（10 月販売開始）178 個 62,300 円売上 Recovery（3 月のみ販売）20 個 7,000 円売上 <p>【販売促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会就労センター主催による販売会参加 ほっとはぁとマーケット 6/6、10/4 24 時間 TV 販売会 8/24、25 ターゲットに合ったイベントへの参加 ハッピーマルシェ 5/11、11/16 サニーサイド秋まつり 11/9 ルーテル室園教会バザー 11/23 <p>販売会・イベント総売り上げ 101,850 円</p>

(2) 新規利用者獲得

新規利用者獲得への取り組みとして、支援学校の生徒を対象にした支援学校学生実習の依頼による体験実習を今年度は3名受け入れております。10月に予定しておりました、体験見学会については、台風の影響で実施を見送っており、次年度からの新規利用者の獲得には至っておりません。

<体験利用・支援学校実習受け入れ>

実施日	参加人数	依頼先 (学校等)	実施内容
6月10日～21日	2名	菊池支援学校 高等部 2年生 大津支援学校 高等部 3年生	<ul style="list-style-type: none"> 各種箱折り フルーツネット束ね
9月24日～10月4日	1名	菊池支援学校 高等部 2年生	

共同生活援助事業サニーサイド事業報告

共同生活援助事業では、「年齢を重ねても楽しみのある暮らし」をテーマに関する取り組みに加え、利用者が地域でサポートを受けながら安心した生活を送ることができるよう支援を行っています。10代から70代まで幅広い年齢の利用者が入居されており、日常生活に介助が必要な方、経済面で支援が必要な方など、求められるニーズも多様化しているため一人一人のニーズに応じ、行政や病院、他事業所などの関係機関との連携が必要になるケースが増えてきています。また、今年度より利用者が主体となる意思決定支援に取り組み、自治会を通じて自らも考えを意見としてあげ、実現することから、苦情相談会であげられる要望に関する項目が昨年度より50%減少しています。

1、共同生活援助事業利用者概要

今年度は4月にわかば男性利用者が施設入所にサービス変更、5月より入院していたさくら女性利用者が9月に退所となり、利用者数が2名減少しています。

また、のばら男性利用者1名が6月に23日間入院、さくら女性利用者1名が10月～12月中旬まで入院していた為、利用者数及び利用延べ人数が減少しています。

対象者	人数	平均 年齢	療育手帳				障害支援区分						平均	
			A1	A2	B1	B2	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1		
共同 生活 援助	男性	5	50	0	2	2	1	2	2	0	0	1	0	4.8
	女性	5	54.8	0	2	3	0	2	3	0	0	0	0	5.4
	全体	10	52.4	0	4	5	1	4	5	0	0	1	0	5.1

<利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年利用率
わかば	366	366	4	25%	50%
のぼら	1427	366	5	77.9%	79%
さくら	1766	366	6	80.4%	97.9%
全体	3559	366	15	64.8%	78.9%

(2020年3月31日現在)

2、共同生活援助事業

【目標に対する取り組み】

(1) 健康で楽しみのある生活の提供

年1回の健康診断、月1回の体重測定の推移観察、日々の健康観察等を実施しています。今年度より体重推移や年齢、運動量を考慮した食事摂取量調査を年2回実施し、1名の方が適正体重に応じた食事量の変更を行い、体重減少に向かっています。また、個人に応じた内容の運動支援の取り組みを行っており、夕方は自らウォーキングをするなど、運動への意欲につながっています。

今年度は、怪我や病気による入院が2名見られていますが、現在は退院されグループホームでの生活を楽しまれています。

実施した項目		実施内容
1	健康管理	健康診断の実施（年1回実施） 体重測定の実施（月1回実施） 血圧測定（対象者のみ月1回実施） 食事量見直し（体重増加に伴い利用者1名を食事量変更）
2	体力・身体機能の維持	健康体操（週5回実施） 階段を使用した下肢筋力訓練（週2回 3名対象） ウォーキング（休日及び日中活動終了後実施） グラウンドゴルフ（3回実施 延べ15名参加） ペタンク（日中活動終了後3か月間実施 延べ310名参加）

(2) 社会生活支援の充実

意思決定支援については、利用者中心の自治会運営を目指し、今年度より司会進行をする代表者4名を決定し、自治会の進め方や議題の打ち合わせを行い、職員がサポートしながら司会を行っています。始めは緊張していましたが慣れてくると、自治会の議題についての提案をするようになり、外出先の要望や一日旅行の企画、間食の要望、余暇活動に関する要望に加え、地域交流イベントの企画についても議案をあげ、自治会内で決定するなど以前に比べ、自主性の向上が見られています。

年度末よりコロナウイルス感染症の影響で、外出自粛が長期化していますので、次年度は、外出自粛の中でも、楽しみのある生活を送ることができるよう様々な支援を行っていきます。

実施した項目		実施内容
1	意思決定支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会議実施（対象者4名） 自治会実施（月1回 全員参加） 一日旅行実施（ゆめタウン光の森5名参加、阿蘇ファームランド5名参加） グランドゴルフ大会景品の変更 泗水西小学校運動会参加者決定（代表3名参加）
2	趣味・余暇活動サービスの充実と提供	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動を提供 手芸・クラフト・軽運動 計13種 実施延べ88名参加 ツタヤ・コンビニ利用（計41回 延べ82人参加） 外食・弁当の提供（12月～3月 11回実施） ドライブスルー利用（1回 10名参加）

（3）新規利用者の獲得

サニーサイドの施設入所を利用中である地域移行グループ2名の宿泊体験を実施しました1名はグループホームでも抵抗なく過ごされていたため2回目の体験を実施しています。その他、精神科入院中の女性1名が宿泊体験を実施されましたが、利用者の体調不良により、日帰り体験となっています。

また、次年度新規グループホームオープンに向け、相談支援事業所への利用者募集の案内を作成し、送付しております。5名の方の見学・体験の希望がありますが、コロナウイルス感染症により、当面見送りとなっております。

実施した項目		実施内容
1	サニーサイド宿泊体験受け入れ	男性1名 1回（11月19～20日 1泊2日） 男性1名 2回（11月20～21日 1泊2日） （1月20日～1月24日3泊4日）
2	宿泊体験利用受け入れ	女性1名（日帰り体験）

3、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。質問や自身の報告では、帰省に関する事や購入したい物の相談内容が多く上げられていました。帰省に関しては日程が分かり次第ご本人に報告し、購入したいものは個別で対応しています。食事に対する要望に関しては、世話人会議で情報共有し、献立として提供しています。

<相談内容及び相談件数>

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関すること	4	4	133%
要望（食事・外出等）に関すること	10	10	55.5%
その他（質問・自身の報告等）	11	11	157%
総 計	25 件	25 件	89.2%

相談支援事業所サニーサイド事業報告

特定相談支援、障害児相談支援とともに新規の相談支援を実施しており、障害児は泗水町、七城町を中心に相談を受けています。担当者会議の際には、保育所、小中学校の先生にも参加頂き、これまで以上に情報共有の場を設け、連携した支援関係作りを行っています。また、相談件数の増加や法改正に伴うモニタリングの増加に合わせ、相談員を増員し、対応を図っています。

さらに利用者、ご家族との面談や関係機関からの情報等により地域ニーズの調査・分析を行っています。昨年同様、医療的なケアが必要な障害児・障害者への専門的な支援の充実を求める要望は多くなっています。新たなニーズとして居宅介護や保育所等訪問支援の事業所が不足していると意見が多く聞かれました。調査結果に関しては職員への周知・研修を実施しています。

1、相談支援事業利用者概要

<契約利用者数>

特定（障がい者） 92名 児童 39名 計 131名（前年度より12名増）

<実績件数>

昨年度よりモニタリング実施標準期間の見直しがあり、特定相談、障害児でもモニタリングが増加して来ています。特定相談支援は10件、障害児相談支援は6件の新規依頼があり、相談件数も毎年増加しています。

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特定	相談（延べ）	29	29	16	14	31	37	33	30	26	19	27	41	332	119%
	計画	3	0	4	1	0	5	2	3	2	2	3	7	32	97%
	モニタリング	11	11	8	2	6	17	10	14	13	5	2	23	122	127%
障	相談（延べ）	22	19	29	15	26	26	26	30	27	27	19	19	285	141%

計画	2	2	1	1	2	3	3	5	7	3	2	8	39	111%
モニタリング	7	8	9	5	2	8	3	4	5	4	2	6	63	121%

(2020年3月31日現在)

2、相談支援事業報告

就労継続支援 A 型や一般就労の方への支援において、人間関係や不安の解消に関する相談も増えて
います。障害児相談支援では、小学校進学に向けた相談・見学同行や保育園、小中学校等での対応に関
する相談が増えて来ています。

<相談方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	158	19	11	62	31	51
障害児	96	23	14	30	44	78

<相談内容>

	福祉サービ スの利用等	家計・経済に 関する支援	健康・医療	情緒安定 不安の解消・	保育・教育	関係 機関	就労	その他
特定	308	4	4	6	0	5	2	3
障害児	259	0	7	0	14	2	0	3